



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 京都帝国大学文学部考古学研究報告 1943, 16

ISSUE DATE:

1943-03-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/181656>

RIGHT:

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十六冊

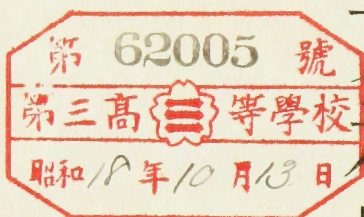
大和唐古彌生式遺跡の研究

昭和十六年—昭和十七年

京都帝國大學

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十六冊

大和唐古彌生式遺跡の研究



昭和十六年—昭和十七年

京都帝國大學

序言

大和國磯城郡川東村の唐古池を中心とする史前遺跡は、同國に於ける最も早く世に知られたる遺跡にして、その平野の略々中央にある立地と、出土遺物等の點とにより夙に學術上注目を惹けるものなり。されば本遺跡の中心地が昭和十一年十二月より着手の國道第十五路線敷設工事に伴ふ探土場に撰ばれ、作業の進行に伴ふて關係遺物の出土を傳ふるや、奈良縣史蹟名勝天然紀念物調査會は、その學術調査を併せ行ふの計畫を立て、翌年一月上旬より委員たる本教室囑託末永雅雄君をしてその局に當らしむることとせり。故濱田教授また同會委員たるの關係よりして同君の調査を指導すると共に、遺跡の重要性に鑑み、その需に應じて隨時小林角田藤岡等の教室員を派して協力せしめ、以て調査に寄與する所ありたり。而して現地の調査が作業の進むに従ひ遺構並に出土品の上に近畿の同種遺跡として稀有の新事實を示すに及んで、之が學術上に與ふる貢獻の大なるを思ひ、遂に奈良縣當局並に末永君の諒解を得て、調査をば縣と考古學教室との協同作業となし、その結果をば本研究報告の第十六冊として公刊する事を企圖せらるるに至れり。かくて教授自ら監督の位置に就き、出土遺物中の木器類其他に對する應急の處理をはじめ、全般の統括に意を勞し、前後三ヶ月に亙る現地調査の終了後夥しき出土品の整理に關しても立案せらるゝ所などありしが、未だその實現に及ばずして、同年七月出でて總長の重責に任せられ、更に翌年七月道山に歸さるゝの不幸に過ひ延いて當初の計畫遂行上に一大頓挫を來せり。こゝに於いて余は教授の遺圖を繼承して、關係教室員の協力を求めその達成に意を用ゐ、

新たに生ぜる諸種の困難なる事情を排除し、爾後滿五ヶ年の歳月を費して、やうやく完成を告ぐるに至れるもの即ち本報告書となす。

茲に故教授の計畫を實現し得て、この重要な遺跡の報告書を學界に提供するに當り、余は先づ冬期三ヶ月に亙る現地の調査に精進せる著者の一人たる末永君の勞苦と、爾後その夥しき出土品の整理調査に任じて本報告書の完成に寄與せる助手小林行雄君の努力とが、よくこの成果を齎し得たるものとして、兩君に敬意を表するの要を覺ゆると共に、本書が永く我が史前研究に寄與する一つの記念標たるべきを深く信せんとするものなり。余はまた現地調査の施行に當り奈良縣當局並に工事監督者諸氏の配慮が調査の遂行を可能ならしめ、本報告書の刊行に重要な聯關をなせる點に於いて、關係者特に奈良縣社寺兵事課長汀定雄岸熊吉技師、內務省大阪土木出張所長高西敬義博士、諸井英一技師、同現場擔當者日坂藤次、松本光治の諸氏に深厚の謝意を表す可く、兼てまた地方有志家並に唐古國民學校教職員諸氏の援助をも深く銘記するものなり。而して發掘調査に一部協力し、また爾後遺物整理の勞苦を分擔せる副手藤岡謙二郎君をはじめ、同角田文衛、同岡田芳三郎、同羽田秀典、大學院學生澄田正一、生徒坪井清足、東方文化研究所員水野清一、羽館易の諸君並に中村春壽、藤森榮一、森本正治、三君等に對して同じく感謝の意を表せんとす。なほ出土遺物中の木質の鑑定に就いては本學助教尾中文彥氏、植物種子類に就いては奈良女子高等師範學校教授小清水卓二氏並に本學理學部講師三木茂博士、動物の遺骨類に就いては東京帝國大學教授長谷部言人博士並に早稻田大學理工學部直良信夫氏、また石質の鑑定等に關しては故本學名譽教授中村新太郎氏の教示を煩はせるものあり、木器類の處理並に其の模型

製作の事に當れる荒谷芳雄君、寫眞撮影に就いての羽館易並に本學寫眞室高橋猪之介兩君の勞と共にまたこゝにその厚意を謝す可きなり。たゞ本遺跡發掘の當時余は病を養ふて薩南指宿温泉にあり、爲に調査終了の直前に遺跡を瞥見したるにとゞまり、延いて故教授の後を承けて、事を督すると言ふも、實際上よりする適切なる處理をなすに缺くる處多く、印行に著しき遅延を來して、遺跡の調査と報告書出版とに對する故教授の主旨に悖り、また累を他に及ぼせる事なしとせず、末尾に記して關係者に陳謝する所なり。

昭和十七年十一月十八日

京都帝國大學文學部考古學教室にて

梅 原 末 治

目次

大和唐古彌生式遺跡の研究

京都帝國大學囑託 末 永 雅 雄
京都帝國大學助手 小 林 行 雄
京都帝國大學副手 藤 岡 謙 一 郎

第一章	序 説	一
第二章	遺跡地の地理と地形	七
第三章	遺跡の状態	一六
第四章	土 器 類(遺物二)	四
第五章	彌生式土器細論(遺物二)	五
第一節	第一様式土器における彩文	六

第二節	第四樣式土器における原始繪畫	101
第三節	第五樣式土器における記號的文樣	115
第四節	各樣式土器における櫛描文樣について	133
第五節	彌生式土器總括	150
第六章	木器類及び植物製品(遺物三)	164
第七章	石器類(遺物四)	183
第八章	土製品及び骨角牙製品(遺物五)	208
第九章	自然遺物類(遺物六)	232
第十章	後論	233
第一節	遺跡に関する考察	233
第二節	遺物に関する考察	239

圖 版 目 次

卷 首	唐古遺跡發見彩文彌生式土器(羽館寫真)	本文對照頁 九七・九
第 一	大和國磯城郡川東村地方地形圖(陸地測量部二萬五千分一地形圖「郡山」「櫻井」圖幅分載)	七・二〇
第 二	南方より見たる唐古池外景(桑名寫真)	二〇
第 三	發掘初期における唐古池全景	三・一〇
第 四	(一)唐古池西北部發掘狀態(二)中央部發掘狀態(三)發掘終了	三
第 五	砂層中土器出土狀態 (一)中央砂層E號地點(二)南方砂層H號地點	
第 六	(三)南方砂層	一七・一九・二五
第 七	同 上 (一)南方砂層I號地點(二)同上近寫(三)中央砂層	二七・二九・三三
第 八	(一)A號地點堅穴内木器出土狀態(羽館寫真)	三一・三七
	(二)A號地點堅穴内土器及籠出土狀態(同上)	三一・三七
	(一)第八四號地點堅穴内木器出土狀態	二六・二七
	(二)第八八號地點堅穴内木器出土狀態	二六・二七
第 九	(一)第八〇號地點堅穴内遺物出土狀態	二六・二七
	(二)第九七號地點堅穴内遺物出土狀態	三三・二七
	(一)G號地點附近堅杵出土狀態	二六・二七
第 一〇	(二)(三)第九九號地點堅穴内遺物出土狀態(羽館寫真)	二四・二七

第一一	(一) 第四九號地點堅穴斷面(羽館寫真)	二一六
	(二) 唐古池西南部發見井戶遺構	二一四
第一二	(一) 第六一號地點堅穴內土器出土狀態(羽館寫真)	二一三
	(二) 第八三號地點堅穴內土器出土狀態	二一三
第一三	(一) 第五九號地點堅穴內土器出土狀態	三〇
	(二) 北方砂層中土器出土狀態	一九〇
第一四	(一) 第四〇號地點堅穴內木器出土狀態	三二六
	(二) 第二七號地點堅穴內木器出土狀態	三二五
第一五	(一) 第一四號地點堅穴內土器出土狀態	三一五
	(三) 第二六號地點堅穴內土器出土狀態	三一五
第一六	(一) 第二五號地點堅穴內土器出土狀態	三一五
	(二) 第四六號地點堅穴內土器出土狀態	三一五
第一七	(一) 第二四號地點下層堅穴內土器出土狀態(羽館寫真)	三一五
第一八	(一) 第二一號地點縱坑	二六七
	(二) 第八〇號地點縱坑下部斷面(羽館寫真)	二六七
第一九	(一) 一號地點小坑內土師器出土狀態	二六九
	(二) 二號地點小坑內土師器出土狀態	二六九
	(三) 三號地點小坑內土師器類出土狀態	二六九

第二〇	彌生式土器 第一樣式壺形土器及壺用蓋形土器(高橋寫真)	四—五
第二一	同 第一樣式彩文壺形土器(桑名寫真)	四—五〇
第二二	同 (一)第一樣式壺用蓋形土器(高橋寫真)	五—五三
	(二)第一樣式壺形土器口緣部文樣(桑名寫真)	七
第二三	同 第一樣式甕形土器甕用蓋形土器及鉢形土器(高橋寫真)	五—五六
第二四	同 第一樣式高坏形土器無頸壺形土器及壺形土器(同上)	五—五八
第二五	同 第二樣式壺形土器細頸壺形土器及大型壺形土器(同上)	五—六〇
第二六	同 第二樣式甕形土器甕用蓋形土器臺附壺形土器及高坏形土器(同上)	六—六三
第二七	同 第三樣式壺形土器壺用蓋形土器無頸壺形土器及水差形土器(同上)	六—六九
第二八	同 第三樣式甕形土器甕用蓋形土器及大型甕形土器(同上)	六—七一
第二九	同 第三樣式高坏形土器(同上)	七—七四
第三〇	同 第四樣式壺形土器(同上)	七—七六
第三一	同 第四樣式水差形土器(同上)	七—七八
第三二	同 第四樣式臺附無頸壺形土器高坏形土器及器臺形土器(同上)	八—八二
第三三	同 第五樣式壺形土器(同上)	八—八六
第三四	同 第五樣式長頸壺形土器(同上)	八—八五
第三五	同 第五樣式短頸壺形土器及同亞式第五三號地點發見土器(同上)	八—八五、八六
第三六	同 第五樣式甕形土器其他(同上)	八—八七

第三七	彌生式土器 第五樣式亞式第四五號地點上層發見土器(高橋寫真)	八七—八八
第三八	土師器甕形土器壺形土器及祝部壺形土器皿形土器(同上)	九一—九二
第三九	繩文式土器 (一)甕形土器(二)同上內面(三)甕形土器口緣部其他(桑名寫真)	九一—九四
第四〇	彌生式土器文樣 第一樣式壺形土器彩文(桑名寫真)	九七—九九
第四一	同 第一樣式壺形土器彩文(同上)	九一—一〇〇
第四二	同 第一樣式壺形土器頸腹部文樣(同上)	四四—四七
第四三	同 第二樣式壺形土器頸腹部文樣(同上)	五七—五九、一三三—一三五、一四一—一四二
第四四	同 櫛描流水文(同上)	六〇—六二、六六
第四五	同 第三、第五樣式壺形土器頸腹部櫛描文樣(同上)	六六—六八、一三三—一三五
第四六	同 壺形土器口緣部文樣(同上)	四九、五八、六六—六八、一三七—一三九
第四七	同 壺形土器及器臺形土器口緣部文樣(同上)	六六—六八、一三七—一三九
第四八	同 第三、第四樣式壺形土器頸部文樣(同上)	六六—六八、一三七—一三九
第四九	同 第二、第三、第四樣式高坏形及鉢形土器口緣部文樣(同上)	六六—六八、一三七—一三九
第五〇	同 第一樣式甕形土器口頸部文樣(同上)	五三—五五、一四〇
第五一	同 第二、第三、第四樣式甕形土器口頸部文樣(同上)	六〇—六二、一四〇
第五二	同 第五樣式壺形土器記號的文樣(同上)	八四—八五、一四一—一四二
第五三	同 文樣及仕上法各種(同上)	五七—五九、一三七—一三九
第五四	彌生式土器繪畫 唐古遺跡發見人物圖原始繪畫聚成(高橋及桑名寫真)	一〇四—一〇七

第五五	同	唐古遺跡發見動物圖原始繪畫聚成(同上)	一九—二〇
第五六	同	家屋圖其他の原始繪畫及型押渦文(同上)	二七・二八・二三
第五七	木器	流水文鉢形木器及流水文筒形木器(羽館寫眞)	一四一—一四二
第五八	同	(一) 鉢形木器(三) 漆塗鉢形木器(四) 鉢形木器未製品(羽館及高橋寫眞)	一四一—一四二
第五九	同	(一) 高杯形木器(同上)	一四一—一四二
第六〇	同	(一) 高杯形木器口緣部(二) 同上脚臺部(同上)	一四八—一四九
第六一	同	(一) 彩文高杯形木器脚臺部(二) 高杯形木器脚臺部(同上)	一四九—一五〇
第六二	同	(一) 彩文高杯形木器殘片(羽館寫眞)	一五〇—一五一
第六三	同	高杯形木器(同上)	一五一—一五三
第六四	同	木製容器類 五種(羽館及高橋寫眞)	一四六—一五二・一五三・一五五
第六五	同	(一) 匙形木器(羽館寫眞)(二) 杓形木器	一五三—一五五
第六六	同	(一) 匙形木器未製品(高橋寫眞)(二) 木器未製品(羽館寫眞)	一五四—一五五
第六七	同	木器未製品 四種(羽館寫眞)	一五五—一五六
第六八	同	木製耕具類 七種(同上)	一五七—一五九・一六三
第六九	同	木製平鋤未製品(同上)	一五八—一六〇
第七〇	同	鋤形木器及同未製品(同上)	一六一—一六三
第七一	同	斧頭狀木器及犁頭狀木器(高橋寫眞)	一六三—一六四
第七二	同	(一) 木製堅杵(羽館寫眞)(二) 同上細部(高橋寫眞)	一六四—一六五

第七三	木器 木製器具類 八種(高橋寫眞)	一六五—一六七
第七四	同 (一)鋸形木製品(羽館寫眞) (二)同上細部(同上)	一六六
第七五	同 (一)木器未製品(同上) (二)木製杭及同細部(同上)	一六〇・一六七
第七六	同 (一)樺纏漆塗弓(高橋寫眞) (二)同上細部(同上)	一六七—一六八
第七七	同 小型丸木弓弭細部 十一種(同上)	一六八—一六九
第七八	同 劍形木製品 三種(羽館寫眞)	一六九—一七〇
第七九	同 木製裝身具類(羽館及高橋寫眞)	一七〇—一七一
第八〇	植物製品 (一)籠出土狀態(羽館寫眞) (二)(三)籠細部	一七一—一七三
第八一	同 (一)A號地點發見大型籠(羽館寫眞) (二)同上細部(同上)	一七三
第八二	同 (一)編蓆出土狀態(同上) (二)編蓆細部	一七四
第八三	同 防己編物(羽館寫眞)	一七四
第八四	同 (一)防己で編み包んだ土器(桑名寫眞) (二)頸部に繩を卷いた土器	一七五—一七六
第八五	同 (一)(二)木葉で口を包んだ土器(羽館寫眞)	一七六
第八六	同 防己の利用を示す遺物	一七五
第八七	同 (一)輪形檜皮製品(高橋寫眞) (二)檜皮(同上) (三)葉製品(同上)	一七五—一七五
第八八	石器類 鎌形及庖丁形打石器類(桑名寫眞)	一八四—一八七
第八九	同 打製石槍及尖頭器類(同上)	一八七—一八八
第九〇	同 打製石鏃類(同上)	一八八—一九〇

挿圖目次

第一圖	唐古遺跡發掘小景(羽館寫眞).....	六頁
第二圖	大和盆地の地形と遺跡分布圖(藤岡製圖).....	八
第三圖	唐古池一部地層圖(末永實測・小林製圖).....	二
第四圖	唐古池内部砂層脈平面圖(末永實測・藤岡製圖).....	三
第五圖	中央砂層における杭及丸太埋沒狀態(末永實測・小林製圖).....	六
第六圖	中央南方北方各砂層一部斷面圖(同上).....	九
第七圖	唐古池發見堅穴類分布圖(同上).....	二〇・二
第八圖	第一樣式土器出土堅穴圖(A號地點)(小林製圖).....	二
第九圖	第一樣式土器出土堅穴圖(末永實測・小林製圖).....	三
第十圖	第一樣式土器出土堅穴圖(第九七號地點)(藤岡實測・小林製圖).....	三
第十一圖	第一樣式土器出土堅穴圖(第九九號地點)(同上).....	四
第十二圖	堅穴構造部材詳圖(小林製圖).....	五
第十三圖	第二樣式土器出土堅穴圖(末永實測・小林製圖).....	元
第十四圖	第四樣式土器出土堅穴圖(藤岡・藤森實測・小林製圖).....	三
第十五圖	第五樣式土器出土堅穴圖(末永・小林實測・小林製圖).....	三
第十六圖	第五樣式土器出土縱坑圖(同上).....	三
第十七圖	第八〇號地點縱坑内土器出土狀態.....	七

第十八圖	土師器出土小坑圖(末永實測・小林製圖).....	三六
第十九圖	彌生式土器實測圖(1) 第一樣式壺形土器(其一)(中村・坪井・小林等實測・小林製圖).....	四・四三
第二十圖	同(2) 第一樣式壺形土器(其二)(同上).....	四・四三
第二十一圖	同(3) 第一樣式壺形土器(其三)(同上).....	四・四三
第二十二圖	同(4) 第一樣式無頸壺形土器及大型甕形土器(同上).....	四・四三
第二十三圖	同(5) 第一樣式壺用蓋形土器及甕用蓋形土器(同上).....	四・四三
第二十四圖	同(6) 第一樣式甕形土器(同上).....	四・四三
第二十五圖	同(7) 第一樣式鉢形土器及高坏形土器(同上).....	四・四三
第二十六圖	同(8) 第一樣式彩文壺形土器及同壺用蓋形土器(同上).....	四・四三
第二十七圖	同(9) 第二樣式壺形土器及大型壺形土器(同上).....	四・四三
第二十八圖	同(10) 第二樣式細頸壺形土器甕形土器高坏形土器其他(同上).....	四・四三
第二十九圖	同(11) 第三樣式壺形土器(同上).....	四・四三
第三十圖	同(12) 第三樣式水差形土器無頸壺形土器壺用蓋形土器其他(同上).....	四・四三
第三十一圖	同(13) 第三樣式甕形土器大型甕形土器及甕用蓋形土器(同上).....	四・四三
第三十二圖	同(14) 第三樣式大型高坏形土器及大型鉢形土器(同上).....	四・四三
第三十三圖	同(15) 第三樣式高坏形土器(同上).....	四・四三
第三十四圖	同(16) 第四樣式壺形土器(同上).....	四・四三
第三十五圖	同(17) 第四樣式壺形土器水差形土器甕形土器其他(同上).....	四・四三
第三十六圖	同(18) 第四樣式臺附無頸壺形土器高坏形土器及器臺形土器(同上).....	四・四三

第三十七圖	彌生式土器實測圖(19) 第五樣式壺形土器(中村・坪井・小林等實測・小林製圖)……………	四三・四三
第三十八圖	同(20) 第五樣式長頸壺形土器鉢形土器高坏形土器其他(同上)……………	四二・四三
第三十九圖	同(21) 第五樣式短頸壺形土器及同第二亞式土器(同上)……………	四三・四三
第四十圖	同(22) 第五樣式第一亞式土器及土師器祝部土器(同上)……………	四三・四三
第四十一圖	彌生式土器第一樣式壺形土器文樣(其一)(小林製圖)……………	四三
第四十二圖	同 第一樣式壺形土器文樣(其二)(同上)……………	四四
第四十三圖	同 第一樣式蓋形土器及壺形土器底部文樣(同上)……………	四四
第四十四圖	同 第一樣式蓋形土器型式一覽表(同上)……………	四四
第四十五圖	同 第一樣式甕形土器及鉢形土器文樣(同上)……………	四五
第四十六圖	同 第一樣式鉢形土器把手(同上)……………	四五
第四十七圖	同 第二樣式壺形土器底部(同上)……………	四五
第四十八圖	同 第二樣式壺形土器文樣(同上)……………	五九
第四十九圖	同 第三第四樣式壺形土器文樣(同上)……………	六四・六五
第五十圖	同 第三樣式臺附無頸壺形土器文樣(同上)……………	六六
第五十一圖	同 第四樣式壺形土器把手(同上)……………	六七
第五十二圖	同 第四樣式器臺形土器口緣部文樣(同上)……………	六八
第五十三圖	同 第五樣式壺形土器口緣部其他(同上)……………	六八
第五十四圖	同 第五樣式壺形土器梯描文樣(同上)……………	六八
第五十五圖	繩文式土器(同上)……………	六九

第五十六圖	彌生式土器 彩文ある第一様式壺形土器(I號地點發見)(坪井實測・小林製圖).....	九
第五十七圖	同 第一様式土器の彩文(小林製圖).....	九・九
第五十八圖	同 第一様式土器の彩文(同上).....	九・九
第五十九圖	同 第四様式土器の原始繪畫(同上).....	二五
第六十圖	舟の繪畫ある壺形土器(坪井實測・小林製圖).....	二六
第六十一圖	舟と推定せられる原始繪畫(小林製圖).....	二八
第六十二圖	彌生式土器第四様式土器の原始繪畫(同上).....	二二
第六十三圖	同 第四様式土器の原始繪畫及び文様(同上).....	二三
第六十四圖	銅鐸の原始繪畫(梅原拓本).....	二四・二五
第六十五圖	彌生式土器第五様式土器の記號的文様(小林製圖).....	二七
第六十六圖	唐古發見彌生式土器各様式一覽圖(同上).....	一三・二七
第六十七圖	彌生式土器第一様式壺形土器(坪井實測・小林製圖).....	一四
第六十八圖	木器類實測圖(1) 筒形木器鉢形木器及高杯形木器(末永・小林實測・小林製圖).....	一四・四五
第六十九圖	同(2) 木製容器類(同上).....	一四・四五
第七十圖	同(3) 匙形木器杓形木器及木器未製品(末永・小林・中村實測・小林製圖).....	一四・四五
第七十一圖	同(4) 木製鉞類及犁頭形木器(末永・藤森・小林實測・小林製圖).....	一四・四五
第七十二圖	同(5) 木製平鉞未製品(末永・藤森實測・小林製圖).....	一四・四五
第七十三圖	同(6) 鋤形木器類(末永實測・小林製圖).....	一四・四五
第七十四圖	同(7) 木製器具類(末永・藤森・小林實測・小林製圖).....	一四・四五

第七十五圖	同(8) 木弓及劍形木製品(末永・小林實測・小林製圖)	一四・一四五
第七十六圖	同(9) 小型丸木弓弭聚成圖(小林製圖)	一四・一四五
第七十七圖	木製高杯接合部詳細圖(小林製圖)	一四九
第七十八圖	筑前須玖發見高杯形彌生式土器圖(同上)	一五〇
第七十九圖	上總菅生遺跡出土木製品(大場磐雄氏寫眞)	一六〇・一六一
第八十圖	木器參考資料 (一)筑前比惠發見杓形木器未製品(小林寫眞)(二)美濃日野發見鋤形木器(藤森榮一氏寫眞)(三)飛騨地方現用木製鋏及鋤(末永寫眞)(四)朝鮮慶州附近現用豎杵(齋藤忠氏寫眞)	一六〇・一六一
第八十一圖	石器類實測圖(1) 打製石器類(藤岡製圖)	一八四・一八五
第八十二圖	同(2) 石庖丁(同上)	一八四・一八五
第八十三圖	同(3) 太型蛤双石斧(同上)	一八四・一八五
第八十四圖	同(4) 片双石斧磨製石劍石棒其他(同上)	一八四・一八五
第八十五圖	同(5) 石槌類及砥石(同上)	一八四・一八五
第八十六圖	石庖丁の穿孔手法(小林製圖)	一九五
第八十七圖	土製品及び石製品(坪井・小林實測・小林製圖)	二〇九
第八十八圖	土製支脚及び石製支脚(小林製圖)	二二三
第八十九圖	骨角牙製品(小林製圖)	二二五
第九十圖	姫路千代田町貝塚發見鹿角製品(小西孝四郎氏原圖)	二三〇
第九十一圖	クスノキの葉(桑名寫眞)	二三四
第九十二圖	二上山近郊における豎穴式家屋(末永寫眞)	二三四・二三五



(出文協承認あ430796號)

昭和十八年三月二十日印刷
昭和十八年三月三十日發行
(六〇〇部)

大和唐古彌生式遺跡の研究
定價參拾圓

編者 京都帝國大學文學部考古學教室

代表者 梅原末治

京都市上京區等持院北町五八

桑名啓价

京都市下京區西洞院七條下ル

印刷者 (西京七) 内外出版印刷株式會社

代表者 宮崎勇治

京都市下京區七條御所ノ内西町一

圖版印刷者 (西京二) 日本寫眞印刷有限會社

京都市上京區等持院北町五八

發行所 桑名文星堂

會員番號一〇八〇〇六號
振替京都二一五九二番
電話西陣二七三二番

